

地域グリーンニューディール基金事業計画書(全体) 事業個表

事業番号	7000014				
事業メニュー区分	(1) 公共施設省エネ・グリーン化推進事業				
事業の名称	福島県庁舎・合同庁舎省エネ・グリーン化モデル事業				
事業の主たる実施場所	福島県庁舎及び喜多方合同庁舎				
事業の目的・概要	<p>我が国のエネルギー政策を供給面からリードしてきた福島県において、人類の生存基盤に係わる最も深刻な環境問題である地球温暖化を防止するため、「福島県地球温暖化対策推進計画」「ふくしまエコオフィス実践計画」(H22改訂予定)を策定するとともに、「地球と握手！うつくしま新エネビジョン」による新エネルギーの導入や「福島県環境共生建築計画・設計指針」に基づく県有建築物の環境性能診断等によるLCCO2削減の取組みのほか、2008年度から2010年度までの3カ年をより一層の低炭素社会への転換を図る期間として環境・エネルギー対策を集中的・戦略的に実施する「地球温暖化防止の環境・エネルギー戦略～地球にやさしい“ふくしま”の創造に向けて～」を策定し、福島議定書事業をはじめとして地球温暖化対策を広く県民運動としての展開を図っているところである。</p> <p>今般、来庁者の多い県庁舎及び合同庁舎において、県内の積雪地域のモデルとなる雪冷房施設の整備や、新エネルギーのベストミックスモデルであるハイブリッド街路灯を整備し、温室効果ガスの削減を図るとともに、県民・事業所への普及拡大と、地球温暖化防止に向けた取組の重要性を啓発していく。</p> <p>(内訳) 雪冷房の設置(喜多方合庁) ・福島県喜多方合同庁舎敷地に新設(鉄筋コンクリート造 3階建) ・既存設備を利用する冷水循環方式 ・雪冷房面積 1,200m²(1F:261m², 2F:465m², 3F:465m²) 太陽光・風力・LEDを併設したハイブリッド街路灯1基の設置(県庁)</p>				
事業実施の方法・内容	・一般競争入札により業者を決定して実施する。				
事業費の算出根拠	年度	合計	平成21年度	平成22年度	平成23年度
	総事業費	82,000	3,700	75,300	3,000
	補助金所要額	82,000	3,700	75,300	3,000
	算出根拠	<p>・雪冷房の設置 79,000千円(設計 3,700千円、工事 75,300千円) ・ハイブリッド街路灯の設置 3,000千円</p> <p><内訳> 雪冷房(喜多方合同庁舎: 対象面積1,200m²) ・貯雪庫(鉄骨造平屋 W15 × L20 × H8) 300m² × 200千円 = 60,000千円 ・機器設備(融雪水ポンプ、熱交換器、機器搬入据付) = 4,000千円 ・配管設備(9,000千円)、自動制御(7,000千円) 計 80,000千円 × 1.05 = 84,000千円 × 0.9 = 75,300千円(H22) (設計委託 5% 75,300千円 × 0.05 = 3,700千円(H21))</p> <p>ハイブリッド街路灯(県庁舎1基) 太陽光、風力、LED照明 ・3,000千円 × 1基 = 3,000千円(H23)</p>			

地域グリーンニューディール基金事業計画書(全体) 事業個表

事業番号	7000014				
事業メニュー区分	(1) 公共施設省エネ・グリーン化推進事業				
事業の名称	福島県庁舎・合同庁舎省エネ・グリーン化モデル事業				
事業効果の算出根拠	年度	合計	平成21年度	平成22年度	平成23年度
	CO2削減効果 (t/年)	30.8t	-	30.8t	0.0t
	雇用効果(人/年)	10	1	8	1
事業実施スケジュール	<p><平成21年度> 雪冷房設計</p> <p><平成22年度> 雪冷房(喜多方合同庁舎)</p> <p><平成23年度> ハイブリッド街路灯(県庁舎)</p>				
他の国庫補助制度がある場合その名称	なし				
自治体独自の既存補助制度がある場合その名称(概要のわかる資料を添付すること)	なし				
備考					